

15年後、くらしや地域はどうなる！

2050年の予測 この事実はどう備えるか？

60歳で結婚してない割合

男性：3割 / 女性：2割

日本で生まれる子ども人数

30万人まで減少？

2026年

4.11 SAT

10:00 ~ 13:00

会場

生協生活文化会館 会議室

名古屋市千種区（地下鉄本山駅すぐ）

イントロ

10:00-10:05

『ふたつのシナリオ』の紹介

報告1

10:05-11:05

「2025組合員アンケート」の結果報告

報告者：駒井 義明 氏（地域と協同の研究センター 専務理事）

報告2

11:05-12:00

日本と東海地域の人口動態をふまえて

報告者：向井 忍 氏（地域と協同の研究センター 代表理事補佐）

討論

12:00-13:00

グループ討論

報告内容を受け、『ふたつのシナリオ』をもとに、2040年への私たち・地域・生協の課題を語り合います。



昨年の参加者の声

「組合員の潜在能力の活用、行政との連携、いろいろな組織との協力が大切だと感じました」

— Aさん

「家族でのケアがなくなる中、地域の支えも希薄に。この危機感をどう共有すればいいのか模索しています」

— Bさん

お申し込み：NPO 地域と協同の研究センター

TEL: 052-781-8280 Mail: AEL03416@nifty.com



QRから申込み

15年後の2040年にあるかもしれない『ふたつのシナリオ』をもとに話し合います。

<2～30歳代の生活を社会全体で支える>

キーワード：自分時間 子育て 生活 仕事

～20～30歳代の生活・仕事（子育て含む）を社会全体で応援する。生協が、そのもっとも身近な支え手になるには？

✓ 入口づくりを重要視

✓ 孤立させないInclusiveの視点

<一人の暮らし 子や孫がいない、結婚しない、つながり>

キーワード：子も孫もない暮らし 独居 90/60や80/50

孤独にならない”ささえあえる”関係をつくる。生協が「食」をとおしてつながりをつくるには？

地域の資源（サロン・趣味・防災）

「仲間になって」のスタンス

みんなで話し合きましょう

組合員アンケートの声とデータ（予測）から見える「確実な社会」を前にして、私たちは”生協”をどう生かせるでしょうか。<仮想シナリオ>をもとに話し合います。

COMMUNITY

COOPERATION

FUTURE 2050